



アーキテクチャ図

接続されたホームコマンドとコントロール



接続されたホームコマンドとコントロール: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

接続されたホームコマンドとコントロール i

での接続されたホームコマンドとコントロール AWS 1

詳細情報 2

図の履歴 2

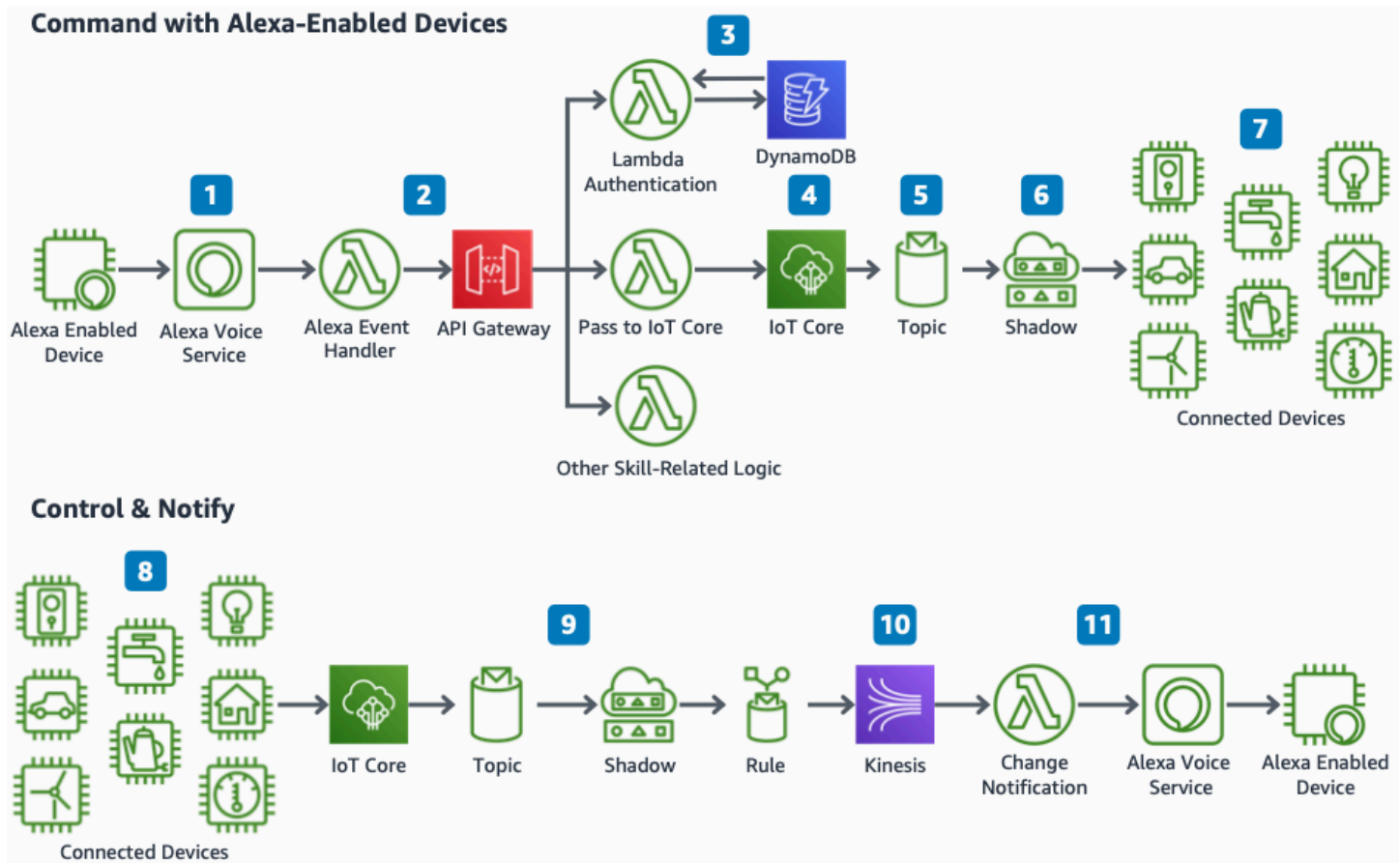
..... iv

での接続されたホームコマンドとコントロール AWS

公開日: 2021 年 3 月 24 日 ([図の履歴](#))

このリファレンスアーキテクチャ図は、を使用して Alexa をコネクテッドホームデバイスと統合する方法を示しています AWS。

での接続されたホームコマンドとコントロール AWS



1. Alexa Voice Services SDK または Amazon Echo を実行する Alexa 対応デバイスは、Alexa 呼び出しを作成します。
2. Alexa スキルはバックエンドロジック [AWS Lambda](#) として を使用します。 [Amazon API Gateway](#) は、正しいスキルハンドラーにデータをルーティングする前に、Alexa スキルの認可とアクセスコントロールを検証します。
3. [Amazon DynamoDB](#) は、ユーザーをスキルとデバイスに関連付けるユーザー認可データを保持し、API Gateway はリクエストを受け入れるかどうかを検証します。

4. [AWS IoT Core](#) を使用すると、デバイスをクラウドに接続できます。AWS IoT Core は Alexa 呼び出しに基づいて更新を送受信します。
5. 各 Alexa 呼び出しは、各呼び出しを評価し、メッセージを他の AWS サービスにルーティングする AWS IoT ルールをトリガーします。
6. Alexa 呼び出しごとに、AWS IoT Device Shadow へのメッセージがトリガーされます。次に、Shadow サービスは、Alexa リクエストに合わせて更新する必要がある設定を含むメッセージをデバイスに送信します。
7. AWS IoT Core は、Alexa コマンドに基づいてアクションを実行する必要があるデバイスに IoT データを安全に送信します。
8. コマンドに加えて、Alexa はローカルで発生するデバイスデータの更新を受け取ることができます。デバイスは、AWS IoT SDK、AWS IoT Greengrass、または Amazon を使用して AWS IoT Core にデータを送信できますFreeRTOS。
9. デバイスは AWS IoT Core にメッセージを送信します。Core は、AWS IoT ルールを使用して [Amazon Kinesis Data Streams](#) にデータを書き込みます。
10. Kinesis Data Streams はリアルタイムデータを提供します。Amazon Managed Service for Apache Flink、Spark (Amazon EMR)、[Amazon EC2](#)、Lambda、およびその他の サービスは、データを抽出して処理します。
11. Lambda 関数は、Alexa Voice Service (AVS) のプロアクティブ通知インターフェイスを呼び出します。これにより、Alexa ドメインまたは有効な Alexa スキルから新しいコンテンツが利用可能であることを示すビジュアルまたはオーディオが表示されます。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)
- [AWS IoT 製品ページ](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2021 年 3 月 24 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。